

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

民事法学・公法学専攻 (英 語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

1. 以下の英文を、日本語で 10 行程度に要約しなさい。
2. 下線部の英文を和訳しなさい。

出典：Noel Reyes Mata v. Loretta E. Lynch, 2015 WL 2473335 (U.S.)

答案用紙別紙

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

政治学専攻 (英語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

問1 以下の英文を日本語に訳しなさい。

出典 : John L. Campbell and Ove K. Pedersen, *The National Origins of Policy Ideas: Knowledge Regimes in the United States, France, Germany, and Denmark* (Princeton: Princeton University Press, 2014), 3-4.

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

政治学専攻 (英 語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

問2 以下の英文を日本語に訳しなさい。

出典：“The Declaration of Independence: A Transcription,” The U.S. National
Archives and Records Administration,
www.archives.gov/exhibits/charters/declaration_transcript.html, accessed July
16, 2015.

答案用紙別紙

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

政治学専攻 (ドイツ語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次のドイツ語テキストを日本語に訳しなさい。

出典 : Axel Honneth, *Pathologien der Vernunft. Geschichte und Gegenwart der Kritischen Theorie*. suhrkamp taschenbuch wissenschaft, 2007, S. 194.

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

共 通 (朝鮮語)

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

次の文章を日本語に翻訳しなさい。

平成 28 (2016) 年度 法学研究科入学試験問題 (修士課程) (秋期)

共 通 (日本語)

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

以下の文章は田村智明『法解釈の正解』(勁草書房、2010年)からの引用である。これを読んだ上で、

以下の問いに答えなさい。

- 1 強行採決について、筆者はどのように考えているか、10行程度にまとめなさい。
- 2 強行採決に対するあなたの意見を、10行以内で述べなさい。